

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
自他を尊重し共に成長していく生徒 己を磨き 最後までやり抜く生徒 豊かな感性と創造力に満ちた生徒	基本的生活習慣の定着を図る。 学習意欲の向上と基礎基本の徹底を図る。 心の教育の充実を図る。 自主的に考え、行動できる生徒を育てる。 保護者・地域と連携した教育活動を推進する。



調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国                      昨年度同様、数学への関心が全国・県の平均を上回っている。                      国語への関心が全国・県の水準を下回った。                      数学・国語のA問題で水準を下回った。</p> <p>県                      国語と社会の正答率が県平均を上回った。                      国語の読む能力、社会の社会的現象についての知識・理解が県の平均を超えている。                      数学と理科の正答率は県平均をわずかに下回った                      理科では昨年よりも県平均との差が広がった。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>学習習慣・生活習慣で毎日の学習時間の落ち込みが大きくなった。                      自尊心や規範意識は昨年に増して全国・県の平均を上回っている。                      学習塾に通っていない生徒が半数いる。</p> <p>自己肯定感をもてる生徒が昨年より多くなった。                      将来への夢や目標をほとんどの生徒がもっている。                      近所の人に挨拶する生徒が増えたが、県を下回っている。                      人の気持ちがわかり、人の役に立とうとする生徒が増えた。反面、言葉づかいがあまりできていない。                      テレビゲームをする時間が増えたが予習・復習など勉強する時間も増えている。</p>



成果と課題	課題に対応した改善方法
<p>土日も含めて家庭学習の時間が不足している。                      調べ学習が少ないと感じている生徒が多い。                      授業で自分の考えを発表する場が多いと感じているが、生徒同士で話し合う場面は少ないと感じている。                      授業の目標が示され、終わりには振り返りの活動ができていない。                      いじめが絶対いけな思っている生徒が98%以上いる。</p> <p>国語では昨年県平均を大きく下回ったが、今年度は平均を超えることができた。                      文法・語句に関する知識が県平均に比して落ち込んでいる。                      社会も昨年、県より下であった正答率が今年度は上回る事ができた。情報と国民生活に関する思考・判断・表現が平均に近づくとよい。                      数学的な考え方の部分で落ち込みが見られる。反面、四則混合の計算では大きく県平均を超えている。                      理科では振り子の運動の部分で理解が低く、人体のつくりと働き以外は県平均を下回る結果であった。                      授業のはじめにねらいや目標が示されると感じた生徒が飛躍的に伸びた。                      数学・理科・社会の好きな生徒が増え、授業もよくわかると答えた生徒が増えたが、国語は減少した。                      授業の中での話し合いや、まとめ振り返りがよくできている。                      総合的な学習の好きな生徒は増えたが、県平均よりは依然として低い。</p>	<p>宿題・課題の設定や提出のさせ方などを各学年で見直し、徹底する。</p> <p>基礎基本の充実を授業以外に、放課後や長期の休業中に時間を設定して取り組む。</p> <p>教科で落ち込みの見られる分野について、類似問題の授業での活用や定期テストへの出題などを行う。</p> <p>授業の中で自分の意見発表を行う場面を増やし、学んだことをもとに自分の考えをまとめ、構築し、他に伝える力をつけさせる。</p>

取組の検証方法及び検証時期	達成目標(数値目標)
<p>学校評価アンケート(生徒・保護者)により、学校での取り組みがどれくらい生徒や保護者に伝わっているか、また過去のデータと比較することで進捗の度合いを3学期に計る。                      各教科の定期テストに類似問題を出題し、対策の必要な分野の伸びを計る。</p>	<p>生徒の「授業は工夫されわかりやすい」の満足指数(+100～-100)が全教科60以上。                      保護者の「学校は、はじめのある生活習慣の育成ができています」について満足指数が20以上。                      各教科の類似問題の出題に対して正答率50%以上。</p>